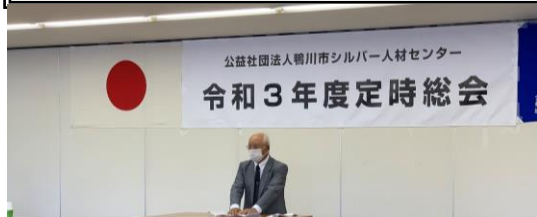




シルバーかもがわ



編集/発行 公益社団法人鴨川市シルバー人材センター
鴨川市八色866 (鴨川市福祉センター内)
電話・FAX 04-7093-0124
メールアドレス・kamogawa@sjc.ne.jp

鴨川市シルバー人材センター令和3年度定時総会開催される 令和2年度事業報告・決算報告等を承認

年間契約金額51,996千円

令和2年度の事業報告、決算報告等を審議する「令和3年度定時総会」が、5月25日(火)午後2時から、鴨川市文化体育館2階の会議室で開催されました。



冒頭の鈴木会長の挨拶のあと、来賓としてご臨席をいただいた、長谷川孝夫鴨川市長並びに川名康介千葉県議会議員から激励の祝辞をいただきました。

総会は、会員総数212名(5月14日現在)のうち、当日の出席者18名、委任状の提出者139名、合計157名で、会員総数の2分の1以上の定足数に達し、議長に太海地区の滝口弘会員、議事録署名人に荒川幸夫理事と主基地区の田村勉会員を選出して議事が進められました。

支払配分金46,503千円

議案第1号「令和2年度事業報告」では、契約金額51,996千円で、会員への配分金46,503千円となりました。年間受託件数は1,

617件、就業延べ人員は9,512人でした。契約の内訳は、公共事業関連が14,585千円(28.0%)民間関連(一般家庭を含む。)が37,410千円(72.0%)でした。

契約金額は、年々減少傾向にありますが、令和2年度の減少には、新型コロナウイルス感染拡大も少なからず影響しているものと思われます。

また、当シルバー人材センターの会員数が減少傾向にある中、特に、技能的仕事である大工仕事や植木作業に就業する会員の不足により、お客様の要望に応えきれない状況となっておりますので、会員の皆さんには会員確保へのご協力をお願いいたします。

令和2年度決算報告

議案第2号「令和2年度決算報告」は、会員皆様の就業による受託事業収入51,996千円、会員からの会費338千円、国庫補助金7,100千円、鴨川市補助金7,100千円等で経常収益計66,539千円となりました。

支出は、就業会員へ支払った配分金46,503千円、材料費等1,081千円等の経常費用計67,969千円となりました。

なお、財産目録では、資産合計が9,182千円、

負債合計が2,937千円となり、資産合計額から負債合計額を差し引いた、6,244千円が令和3年3月31日現在の正味財産となります。

受託事業収入は減少傾向にありますので、これまで以上に就業先開拓に努めてまいります。

新役員選任される

議案第3号で「定款の一部変更について」、また、議案第4号では「役員報酬等及び費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について」がそれぞれ承認されたほか、議案第5号の「役員（理事・監事）の選任」では、2年間の任期満了に伴い、役員が改選が行われました。

新役員の名前は次のとおりです。なお、任期は、5月25日から令和5年度定時総会までとなります。

《理事》 (敬称略)

鈴木助市（再任）、岡安俊夫（再任）、菊地順子（再任）、川名弘一（再任）、荒川幸夫（再任）、野村利雄（新任）、川上良之（再任）

《監事》

戸田一也（再任）、高橋隆一（再任）

また今回、押本敏夫さんが理事を退任されました。長い間、お疲れ様でした。

また、定時総会終了後、臨時理事会が開催され、新役員の内選の結果、鈴木助市会長、岡安俊夫副会長、川上良之常務理事が再任されました。

会長再任にあたって

このたび、引き続き会長職を努めることとなりました、鈴木でございます。今後とも、就業やボランティア活動を通じて、活力ある地域社会づくりに寄与するための活動を推進して参りたいと考えております。引き続き、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



会費納入のお願い

事務局からのお願いです。

会費をまだお支払いいただけてない会員は、至急納入をお願いします。

ご承知のとおり、当シルバー人材センターの事業運営は、国及び鴨川市からの補助金や会員の皆様からの会費などにより行っており、会費の2,000円は、毎年度5月末日までに納めていただくことになっておりますが、一部会員の会費が未納となっております。

つきましては、貴方様の会費の納入につきまして、今一度ご確認をお願いします。

なお、忘れている方は、シルバー人材センター事務所までお持ちいただきますようお願いいたします。なお、電話いただければ集金に伺うことも可能です。

(電話：7093-0124)

会員の募集

公益社団法人鴨川市シルバー人材センターでは、随時会員の募集を行っております。特に大工仕事、植木作業の出来る会員が不足しているのが実情です。市内在住で60歳以上の健康で働く意欲のある方が、ご近所やお知り合いの方でいらしたら、入会されるよう勧誘をお願いします。

会員募集中!

仕事の相談をしてください

入会時に説明させていただいていますが、シルバーは、就業保障がありませんので、長期にわたり仕事の紹介がない場合がありますが、事務局といたしましては、日頃から、未就業会員

の就業は重要であると考えています。

そのため、会員の皆様のご期待に沿うように、就業情報の提供を心がけていますが、会員の皆さんからも事務所へ就業相談をしてください。

安全就業委員を委嘱

鈴木助市会長は、令和3年6月1日付けで、7名の会員を安全就業委員に委嘱しました。

シルバー人材センターにとって、会員に就業機会を提供するにあたり、会員の健康と安全確保が最も重要かつ優先すべき課題です。

今後、委員の皆さんには、安全就業体制の推進に尽力いただきます。任期は、令和5年5月31日までです。なお、委嘱された委員の方々は、以下の通りです。

岡安俊夫、荒川幸夫（以上、理事選出）、石井勝、長谷川勉、鈴木将之（以上、会員選出）、高橋嘉彦（安全就業推進員）

地域貢献活動を実施

昨年の11月1日、田原認定こども園及び長狭認定こども園の園庭の樹木の伐採や草刈り等の地域貢献活動（ボランティア活動）を実施しました。当日は天候にも恵まれ、会員、事務局職員合わせて25名が参加して汗を流しました。

ボランティア活動は、今年度も実施を予定していますので、会員の皆様のご協力をお願いします。



熱中症に注意



「新しい生活様式」における

熱中症予防行動のポイント

- 夏の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。屋外で人と十分な距離（少なくとも2m）が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクをはずすようにしましょう。
- マスクを着用しているときは、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくても、また屋外でも、屋内でも、こまめに水分補給を心掛けるようにしましょう。（一般的に、食事以外に1日当たり1.2リットルの水分の摂取が目安とされています。）また、周囲の人との距離を十分とれる場所では、適宜、マスクをはずして休憩することも必要です。
- 新型コロナウイルス感染症を予防するためには、冷房時でも換気扇や窓解放によって換気を確保する必要がありますが、熱中症予防のためにも、エアコンの温度設定をこまめに調整しましょう。
- 日頃の体温測定は、新型コロナウイルス感染症だけでなく、熱中症を予防する上でも有効です。

《従来からの熱中症予防行動の徹底》

- 激しい作業を行ったときや多量の汗をかいたときは、塩分も補給しましょう。
- 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用するなど、暑さ対策を行い、こまめに休憩をとりましょう。
- 日頃から、栄養バランスの良い食事をとりましょう。

なお、シルバー人材センターでは、熱中症見舞金制度に加入していますので、万が一熱中症

と診断された場合は、事務所への連絡をお願いします。

みんなで守ろう10か条

会員の皆さんの不断の努力により、昨年度の就業中の事故は、幸いにも軽微な物損事故1件でした。

昨年度に続き、今年度も、**次の10か条を守って、就業中の事故を無くしましょう。**

- 安全第一を心掛け、急いだり、あわてたりしないこと。
- 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- 服装及び履物は、業務に適したものにすること。
- 就業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- 高齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理はしないこと。
- 作業現場は、常に整理整頓に心がけること。
- 共同作業では、合図及び連絡は、正確に行うこと。
- 酒気を帯びての就業は、絶対しないこと。
- 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
- 就業の前日は、十分睡眠をとるように心掛けること。

健康診断を受けましょう

高齢者に限らず、誰しも健康であることは大切なことです。

心身に病気がないというだけでなく、快適な生活を日々生き生きと送れることが必要です。

シルバー人材センターは、会員のみなさんが働くことによって、自らの健康と喜びと社会参加が得られることを目指しています。

生活習慣病のほとんどは、病気の初期に自覚

症状がないため、健康診断を受け、早期発見に努めることがどうしても必要です。

そういった意味で、健康診断は健康管理の出発点と考え、年に1回は受診して、健康の維持に努めましょう。

<会 員 数> (人)

	男	女	合計
鴨川地区	76	19	95
長狭地区	34	8	42
江見地区	33	12	45
天津小湊地区	25	3	28
合計	168	42	210

令和3年5月19日現在



編集後記

新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響で1年延期されていた、東京オリンピック(第32回オリンピック競技大会)がいよいよ7月23日に開会式を迎えます。

開催期間は8月8日までの17日間で、33競技339種目が行われます。

夏季オリンピックの東京での開催は、1964年(昭和39年)以来57年ぶりとなります。

新型コロナウイルス感染症の拡大がなければ、現在のような物議をかもすこともなく、「平和の祭典」は日本国中を沸かせたことでしょう。

実施することには、いまでも賛否両論がありますが、実施されるのであれば、無事閉会式を迎えることを祈るばかりです。